

# 交換留学報告書

\* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	井上 夏希	学年(渡航時)	2
派遣先大学	アーカンソー工科大学		
国・地域	アメリカ合衆国		
派遣期間	2024 年 1 月 ~ 2024 年 12 月		

## 履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Composition I	英語でエッセイを書く方法を学ぶ
Composition Workshop	上の授業のセットの授業
Regional Geography of the World	世界地理を学ぶ
Introduction to the University	アメリカでの大学生活について学ぶ、初年次ゼミのようなもの
2 学期目	
履修科目	授業内容
American Government	アメリカの政治システムについて学ぶ
Digital Skills	フォトショップの使用方法を学ぶ。実際にパソコンを使って授業を受ける。
Experiencing Art	芸術について、歴史、絵の描き方など幅広く学ぶ。講義を聴くだけの授業スタイル。
Introduction to Geographic Information Systems	GIS(地理情報システム)の使用方法について学ぶ。ハイフレックス型の授業で、授業に出ても、オンデマンド式で受けてもよい。

## 留学レポート(1,500 字以上)

### 履修について

一人一人にアドバイザーが付き、その人と話し合いながらクラスを決める。1, 2年生向けの専門基礎科目を提案されるが、自分のやりたい授業を履修できる。提案された時間割と全く異なっても何も問題ない。

### 授業について

授業は、月水金、火木に同じ授業がある。基本的に講義形式。人数は多くても 30 人程度で、大体 15~20 人のクラスが多い。私が取っていた授業は講義中心の授業が多かった。1, 2年生向けの授業の難易度はあまり高くないが、3, 4年生向けの授業になると高くなる。特に、読み書きの量が多くなり、難しい専門用語を使うことになるので、大変だった。課題をしっかりと行えばいい成績を取れる印象。

### 派遣先大学のサポート体制

渡航後のサポートはかなり充実していたが、渡航前はレスポンスがなくとても苦労した。DS-2019 が発行されたのが渡航の 3 週間前ほどで、ビザの発行がギリギリになってしまった。しかし、渡航後のサポート体制は充実していたと思う。授業登録、寮の手続き、Psafe、メディカルセンター、ジムなどがある。ジムは Semester で 25 ドル。

### 現地の到着空港から大学までの移動

渡航前に、シャトルバスに乗るかどうかが聞かれる。時間的にシャトルバスの時間に間に合わなくても、別途で迎え

に来てくれる。空港から大学まで約 1 時間かかり。

## 寮

【建物】 Commons

【部屋タイプ】一人部屋

ホルテンシアと同じタイプの寮。キッチンは四人で共有だが、トイレ・風呂は 2 個あり、二人で共有する。部屋はホルテンシアよりかなり広いので広々と使える。

【建物】 Jones Hall

【部屋タイプ】2 人部屋

同じ部屋を二人で共有。ベッドと机しかないため、冷蔵庫やレンジが欲しい場合、レンタルできる。同じ部屋を共有するので、落ち着かなかった。ルームメイトと生活リズムが合わなかったので、初めにルールを決めることが大事だと実感した。

部屋を変えた理由は、Commons でルームメイトと全く交流がなかったことと、節約のためだったが、両方改善せずだったので後悔した。友達によると、私の例は稀であるそうなので、心配しなくて大丈夫です！！

入寮する際に購入したもの

寝具一式、食器、ハンガー、ルームシューズ。寮を変えた際には、シャンプーなどを入れる籠。

## 食事(ミールプラン)

Commons 以外の寮だとミールプランが必須。シルバープラン(週 10 回)を購入した。アンリミテッドというのがあり、それは回数制限がないが、あまり必要ないと感じた。DCB という、ミールプランとは別に 100 ドルか 170 ドル分のポイントみたいなものが付いてくる。それは、大学内で使える。

大学の中は、カフェテリアと BazzTech でご飯を食べられる。スタバも入っている。しかし、8、9 時にはすべてしまってしまうので注意。

## 現地での交通手段

アーカンソー州には、公共交通機関がないので、車が学校のシャトルバスでしか移動できない。徒歩で行ける範囲には、カフェ、ファミレスがある。週に一回、ウォルマートに行くシャトルバスで買い物をしていた。空港への移動は、到着時と帰国時にしか学校のシャトルが使えないので、友達の人に車を乗せてもらうしかない。

## お金・携帯電話

普段はクレジットカードを使っていた。割り勘の際は現金を使っていたが、Cash app というアプリを使うと便利だった。

日本に比べ、物価は高い。ニューヨークやロサンゼルスなどの都市部に比べると安く感じた。

携帯電話は、最初の一カ月は楽天モバイルで、その後からは mint mobile を使っていた。ネットですぐに購入でき、安いのでお勧めです。

## 大学内外のアクティビティ

この大学には、日本学生会(JSA)というのがあり、日本人留学生はほぼ参加している。主に年に三回大きなイベントがあり、そのどれもが日本の文化を紹介するものだった。

留学支援課では、留学生向けのイベントがよく行われており、留学生同士で交流する機会は多くある。

学校自体も、よくイベントを行っていた。SAB という団体のインスタで告知をしているので、チェックしてみてください！また、バスケットやアメフト観戦も無料なのでお勧めします。

大学の付近にはたくさん教会があり、昼食を無料で食べられた。金曜夜は IFO という団体で、留学生と現地学生が交流しながら晩御飯を食べられます！猛者になると毎日フリーミールを食べていました！

## 留学中に行った旅行

### ・アーカンソー州内

リトルロックは治安が悪かった。アーカンソーでは、やっぱり自然を満喫するのがよいと思う。ハイキングをしたが、とても景色がきれいだった。ハイキング・カヤックなどたくさんできる。

### ・ダラス

大学から車で6, 7時間ほど。都会すぎでも田舎すぎでもない。ケネディ大統領が暗殺されたところを見られる博物館がお勧めです。

### ・ワシントン DC

ホワイトハウス、スミソニアン博物館など観光スポットがたくさんあった。スミソニアン博物館は無料です！広すぎて回りきるのに数日かかると思います...

### ・ロサンゼルス

幼少期に住んでいた時の知り合いがいるため合計三回行った。夏休みは三か月あったので、二か月ホームステイしていた。ドジャースの試合を見たり、ダウンタウン観光など、とても楽しく過ごせましたが、ダウンタウンはとも危ないので注意です。

### ・デンバー

同じく、住んでいた時の友達がいるので一週間ほど滞在した。夏に行くのがいいと思います。

### ・ラスベガス

ロサンゼルスから帰る際に立ち寄った。夏に行ったのでとても暑かった。グランドキャニオンがすごかった。カジノは21歳からしか入れないと、年齢確認のパスポートが必須です！

### ・メンフィス

大学から車で三時間ほど。河村勇輝選手がメンフィスのチームにいるので見に行った。

### ・ボストン

ボストンキャリアフォーラムに参加した。同じ大学からボスキャリに行く人が五人いたので、一緒にエアビに泊まった。ボストン内での移動は、バス・電車・ウーバーを使った。内々定を貰えるチャンスなので参加することをお勧めします。ハーバード大学、MITなど観光もたくさんあって楽しかったです。

### ・シカゴ

シカゴからニューヨークまでアムトラックという寝台列車に乗った。シカゴも都会でとても楽しかった。一日で観光しきった印象。

### ・ニューヨーク

日本に戻る前に行った。ブロードウェイに感動した。観光する場所がとてもあるので、三泊ぐらいはした方がいいと思います！

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

たくさんイベントがあるのと、留学生が交流する機会がたくさんあるので、英語でコミュニケーションをたくさん取りたい人におすすめです。学校関連のインスタをたくさんチェックして、イベント情報を手に入れることをお勧めします。また、田舎なのと、大学しかないような街なのでとても治安はいいです。

ですが、たくさん旅行したい人や、都会がいい人にはお勧めしませんが、空港まで友達に送ってもらうしかないのととても不便です。旅行も行きにくいし、買い物も週一回しか行けないので少しでも費用を節約したい人にはいいと思います。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



大学のアメフト観戦



皆既日食の写真(友達の家で)



BazzTech 前にて



メンフィスでのバスケ観戦



IFO でのハロウィンパーティー